

—タイより30名の高校生が来日—
「日本 タイ ティーンエイジ アンバサダー(高校生交流)事業」を実施
バンコク市の3校の高校生が、北海道室蘭市、愛知県名古屋市・津島市の高校生と交流

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、11月5日(月)から、日本とタイの高校生が8日間の交流活動を通して親交を深める「日本 タイ ティーンエイジ アンバサダー(高校生交流)事業」を実施します。

当財団は、柱となる3事業*のひとつに「諸外国との友好親善の促進」を掲げ、1990年より、アジアを中心とした国々と日本の高校生が互いの国を訪問し、交流する「ティーンエイジ アンバサダー」事業を行っており、今回を含めた当事業の参加国は18カ国、参加者は累計2,520名にのぼります。

タイの高校生との交流は、1992年、2004年に続く3度目の実施となります。今回の交流では、タイのバンコク市の3校からの30名と、日本の北海道室蘭市、愛知県名古屋市・津島市の3校からの30名、合計60名の高校生が参加します。“ティーンエイジアンバサダー(小さな大使)”として、外務省への表敬訪問や大使館でのパフォーマンス、代表者によるスピーチ等を行います。

また、両国の高校生は、防災を活動テーマに「イオン小牧防災危機管理センター」(愛知県小牧市)を訪問したのち、北海道室蘭市、愛知県の名古屋市と津島市の3カ所に分かれ、それぞれの地でも防災に関連するくらしの知恵について学ぶほか、授業体験やホームステイを通じて日本の歴史・文化を体験します。

来年1月には、日本の高校生が、今回来日するタイの高校生のもとを訪ね、この度の交流で育まれた友情の絆をさらに深める予定です。

当財団はこれからも、アジア各国の未来を担う若者の相互交流を通じ、両国の友好親善の促進に資する活動を続けてまいります。



2004年に日本で実施した「日本 タイ ティーンエイジ アンバサダー」歓迎会

* 3事業：「次代を担う青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善の促進」「地域社会の持続的発展」

【プログラム概要】

1. 期間：11月5日（月）～11月12日（月）

2. 実施地域：北海道、東京都、愛知県

3. 参加者：日本
①海星学院高等学校（北海道室蘭市）
②愛知県立津島高等学校（愛知県津島市）
③名古屋大学教育学部附属高等学校（愛知県名古屋市）
の学生 計30名

タイ
①ドンムアン タハン アーカット バムルン高校（バンコク市）
②シー アユタヤ高校（バンコク市）
③ワット プッタプチャー高校（バンコク市）
の学生 計30名

4. 主な行動予定：

共通	11月 5日(月)	タイの高校生が日本に到着 対面式、オリエンテーション
	11月 6日(火)	外務省への表敬訪問、及び質問会 在日本タイ王国大使館にて歓迎会
	11月 7日(水)	イオン小牧防災管理センターを視察
エリア活動	11月 8日(木)	北海道室蘭市、愛知県名古屋市、愛知県津島市の3カ所に 分かれ、文化体験
	11月 9日(金)	各校での授業体験、ホームステイ
	11月10日(土)	ホームステイ
	11月11日(日)	ホームステイ フェアウェルパーティー（北海道／愛知県）
	11月12日(月)	タイの高校生帰国

ご参考

【公益財団法人イオンワンパーセントクラブについて】

当財団は1989年、イオンの前身であるジャスコの誕生20周年を機に、「絶えず革新し続ける企業集団」として、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと設立されました。企業の業績にかかわらず継続的に活動するため、グループの主要企業が 税引前利益の1%を拠出し、「次代を担う青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善の促進」「地域社会の持続的発展」の3つを柱となる事業として、社会貢献活動を行っています。

※活動の詳細な内容はこちら (<https://www.aeon.info/1p/>) をご覧ください。

【タイにおける社会貢献活動について】

■アジアユースリーダーズ



タイ、インドネシア、ベトナム、マレーシア、日本、中国の6か国の次代を担う学生が一堂に会し、英語を共通言語として開催地の社会問題をテーマにディスカッションを行い、問題の改善策を現地の政府に提案します。また、多国間での議論を交わすことで、国際感覚を身につけるとともに、価値観の多様性についての理解を深めます。

■イオンスカラシップ（アセアン）事業

日本で学ぶアジアの私費留学生を対象とした給付型奨学金制度。各国の奨学生を対象に、定期的なセミナーの開催等、学生たちの未来へ向けた更なる成長を支援しています。将来、日本と各地域の国々をつなぐ架け橋となって活躍してほしいとの願いのもと、2006年に開始しています。アセアンでは、インドネシア、カンボジア、ベトナム、ミャンマー、タイの5カ国で学ぶ優秀な大学生を対象に、各国での奨学金給付のほか、年間を通じた経済的支援を行っています。タイでは、2010年に奨学金の給付を開始しています。



■ティーンエイジ アンバサダー（高校生交流）事業



日本と海外の高校生が、政府訪問などの「大使活動」、授業体験やホームステイなどの「交流活動」、文化遺産への訪問や、伝統文化を体験する「歴史・文化活動」を通じて、互いの国の歴史や文化を理解し、友好親善が深まることを目的に、1990年より行っています。2005年と2009年には同窓会を開催し、社会人となって世界各国で活躍する仲間たちが一堂に会し、再会しました。

■緊急災害復興支援

大規模災害により被災した方々が、日常の生活を一日でも早く取り戻せるよう、復旧・復興を支援しています。2011年に発生したタイ洪水被害では、募金活動のほか、災害復興支援金の贈呈を行いました。



■タイでの植樹活動



公益財団法人イオン環境財団が、1990年の設立以来、ボランティアの皆さまとともに、世界各地で植樹を行っています。タイでは、1995年から2007年の間に地元の住民の方々とともに総計140,500本を植樹しました。

公式アカウント

イオン1%クラブの活動をリアルタイムで紹介。

↑上のQRコードから友達追加

Q 1_percent_club で検索

Q「AEON 1%」で検索